（様式１）

1　自己評価及び外部評価結果

作成日　　平成２３年３月１０日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473200313		
法人名	有限会社　美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい府中		
所在地	広島県安芸郡府中町山田２丁目６番９号 （電話）０８２－５０８－０８１１		
自己評価作成日	H23. 2. 10	評価結果市町受理日	

※　事業所の基本情報は，介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先ＵＲ	http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3473200313&SCD=320

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年3月16日

【事業所が特に力を入れている点，アピールしたい点（事業所記入）】

民家改造型のグループホームで定員も７名と小家族です。一人ひとりの人生、人格を尊重し、「ここは私の家よ」と言って頂けるホームにしたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は、安芸郡府中町の山手に新旧の家屋が入り混じった閑静な住宅街の一角で、バス停より徒歩で約５分以内で交通の利便性が良い。母体組織の理念にもとづいて、事業所独自の目標を策定し、全職員はケアの意見の統一を図りながら「多機能ホームを地域に」をモットーに地域に密着したサービスを提供されている。その中でも、当事業所の特徴は定員が７名（現利用者5名）と、恰も１軒の大家族のような雰囲気の下、利用者お一人おひとりに職員がきめ細かに気を配り、和気あいあいと日々の業務に邁進されている。職員各位も豊富な経験と、関連事業所の職員間の交流を通じて得た、知識と技術に更なる磨きをかけ、安定的・継続的なサービスの提供に努められている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ　理念に基づく運営					
1	1	**○理念の共有と実践** 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員は，その理念を共有して実践につなげている。	開設当時より独自の理念を作っている。その１つに地域に密着したホームを目指すと掲げている。毎日の生活の中で理念を心に留めながら仕事をしている。事あるごとに話をして共有化に努めている	法人全体の理念を踏まえ、ホーム独自の理念「地域に密着したホーム」をモットーとして、その達成に向け全職員が理念の共有と実践につなげている。	
2	2	**○事業所と地域とのつきあい** 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しており、回覧板や町内会の清掃、町民運動会、秋祭り等を通して、地域の方々との交流を行っている。生き生きサロンへも出かけている	町内会の一員として、地域行事に積極的に参加し、毎月1回開催される「生き生きサロン」で地域の方々との交流や、町内の清掃・町民運動会・秋祭り等を通して利用者と地域の繋がり配慮した、活発な地域交流がなされている。	
3		**○事業所の力を活かした地域貢献** 事業所は，実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を，地域の人々に向けて活かしている。	利用者様が近位の方が多く、グループホームの活用の仕方等、地域運営推進会議を通して話し合っている		
4	3	**○運営推進会議を活かした取組み** 運営推進会議では，利用者やサービスの実際，評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い，そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的に会議を行いホームの取組み、状況報告を行っている。そこでの意見を反映させ、サービス向上に努めている。	運営推進会議は、定期的に開催され主としてホームの取り組みや現況報告がなされている。参加者は町内会の老人会々長・地域包括支援センター・町の職員の参加を得、参加メンバーから率直な意見・質問・要望等を受け、双方向的な会議となっている。	運営推進会議に家族の参加を、今一度工夫されるよう期待します。
5	4	**○市町との連携** 市町担当者と日頃から連絡を密に取り，事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら，協力関係を築くように取組んでいる。	実地、集団指導、町主催の研修・交流会に参加し取り組んでいる。	行政の積極的な支援、例えば町が主催して町内の全介護事業所の交流会・懇親会の開催、研修会等々で助言・指導等がなされ、様々な機会を通じ、常日頃から密接な連携、協力関係が築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	**○身体拘束をしないケアの実践** 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており，玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束はしない。「身体拘束排除宣言」を掲げ、天気の良い日は玄関を開放し取り組んでいる。	高齢者の権利保護や身体拘束に関し、全職員が共通認識の下、職員の見守りの方法を徹底し、利用者の自由な暮らしを支援している。	
7		**○虐待の防止の徹底** 管理者や職員は，高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち，利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い，防止に努めている。	日々のケアの中でお互いに注意を払い帽子に努めている、虐待はありません。		
8		**○権利擁護に関する制度の理解と活用** 管理者や職員は，日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち，個々の必要性を関係者と話し合い，それらを活用できるよう支援している。	研修の機会を持っている。個々の必要に応じて支援している。活用してる方もいる。		
9		**○契約に関する説明と納得** 契約の締結，解約又は改定等の際は，利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね，十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に面接、見学を通して十分な説明をしている。納得の署名押印を頂いている。		
10	6	**○運営に関する利用者，家族等意見の反映** 利用者や家族等が意見，要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け，それらを運営に反映させている。	面会、行事、意見箱設置を通して、意見要望をお受けしている。反映させている。	事業所の行事（誕生会・旅行・花見等）や家族との面会時等、あらゆる機会を捉え意見・要望のお収集に努め、代表者・管理者・全職員が共有し、即時対応を心掛け、事業所の運営に反映されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	**○運営に関する職員意見の反映** 代表者や管理者は，運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け，反映させている。	毎年自己申告で思いを聞いている。月２回ホームからの意見や提案を受ける機会を設け反映させている。	日々のミーティングで職員の意見や提案状況を、毎月2回開催される幹部会議で報告紹介され、代表者・管理者が問題点を検討し対策をたて、業務の運営・改善に反映させている。	
12		**○就業環境の整備** 代表者は，管理者や職員個々の努力や実績，勤務状況を把握し，給与水準，労働時間，やりがいなど，各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	月２回希望休を設けている。個々の目標の到達度、資格取得の受験援助を行っている。		
13		**○職員を育てる取組み** 代表者は，管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し，法人内外の研修を受ける機会の確保や，働きながらトレーニングしていくことを進めている。	年間研修計画を基に実施している。社外の日総研の利用、キャリアパス等の研修の機会を進めいている。		
14		**○同業者との交流を通じた向上** 代表者は，管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり，ネットワークづくりや勉強会，相互訪問等の活動を通じて，サービスの質を向上させていく取組みをしている。	町主催の研修、懇親会にも参加し研鑽を積んでいる。		
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		**○初期に築く本人との信頼関係** サービスの利用を開始する段階で，本人が困っていること，不安なこと，要望等に耳を傾けながら，本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に面接を行い思いなど細かく聞くようにしている。又利用後も関わりを多く持ちゆっくりと話を聞くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
16		**○初期に築く家族等との信頼関係** サービスの利用を開始する段階で，家族等が困っていること，不安なこと，要望等に耳を傾けながら，関係づくりに努めている。	入居前面接でご家族からも細かく話を聞くようにしている。又、入居後も面会等を利用し細かく様子をお伝えしている。		
17		**○初期対応の見極めと支援** サービスの利用を開始する段階で，本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め，他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人とが家族よりしっかりお話を聞き必要なサービスを見極め他サービスとも連携し支援している。		
18		**○本人と共に過ごし支えあう関係** 職員は，本人を介護される一方の立場に置かず，暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	主は利用者様と捉えている。個々のやり方を尊重し共生に心を砕いている。		
19		**○本人を共に支えあう家族との関係** 職員は，家族を支援される一方の立場に置かず，本人と家族の絆を大切にしながら，共に本人を支えていく関係を築いている。	一緒に支えていくという思いを持ち、面会時を利用ししっかりお話をするようにしている。		
20	8	**○馴染みの人や場との関係継続の支援** 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう，支援に努めている。	かかりつけ医、墓参り、自宅への外出等、一緒に出かけている。	利用者が以前通っていた病院・商店に同行したり、お墓参り・自宅への外出や、友人の訪問、夏祭りへの家族の招待等を通して、馴染みの人や場所との関係継続の支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		**○利用者同士の関係の支援** 利用者同士の関係を把握し，一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い，支え合えるような支援に努めている。	リビングの席は相性を考えて決めている。利用者様同士が関わりやすいように職員が間に入って支援している。		
22		**○関係を断ち切らない取組み** サービス利用（契約）が終了しても，これまでの関係性を大切にしながら，必要に応じて本人・家族の経過をフォローし，相談や支援に努めている。	終了時は看取り退居がほとんどなので退居後の相談・忌日の支援に努めている。		
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	**○思いやりや意向の把握** 一人ひとりの思いや暮らし方の希望，意向の把握に努めている。困難な場合は，本人本位に検討している。	入居前、入居中を通してアセスメントをしっかり行っている。いかなる時でもまず、ご本人としている。	日頃の関わりの中で、会話や表情から利用者の要望・意向を把握し、家族の協力を得ながら、思いやりのある介護支援に努められている。	
24		**○これまでの暮らしの把握** 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方，生活環境，これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントツールを使用し生活暦の把握に努めている。		
25		**○暮らしの現状の把握** 一人ひとりの一日の過ごし方，心身状態，有する力等の現状の把握に努めている。	健康チェック、食事摂取状況、排泄表、介護記録などで、心身状態等把握している。又アセスメントを細かく記入し個々に合ったサービスにつなげるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
26	10	**○チームでつくる介護計画とモニタリング** 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について，本人，家族，必要な関係者と話し合い，それぞれの意見やアイデアを反映し，現状に即した介護計画を作成している。	センター方式を使用し、本人、ご家族の意見をしっかり聞くようにしている。その上でアセスメントシートを作成し話し合いを行い、介護計画を作成している。	利用者の希望、家族の意見をもとにし、定期的にケアカンファレンスを行い各関係者の意見を調整し、必要な支援を盛り込んだ介護計画が作成されている。	
27		**○個別の記録と実践への反映** 日々の様子やケアの実践・結果，気づきや工夫を個別記録に記入し，職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録を生活日誌に記録している。申し送りノートで情報を共有し、ケアカンファレンスを通して実践や見直しをしている。		
28		**○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化** 本人や家族の状況，その時々に生まれるニーズに対応して，既存のサービスに捉われない，柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	墓参り、通院の同行、入院時の付添い、温泉旅行等、柔軟に対応している。		
29		**○地域資源との協働** 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し，本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	町内会の”生き生きサロン”、運動会、祭り、町内会の訪問、専門学校生の実習等を通して楽しんで頂いている。		
30	11	**○かかりつけ医の受診診断** 受診は，本人及び家族等の希望を大切にし，納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら，適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に希望をお聞きし、かかりつけ医につないでいる。週１回往診がある。整形外科、耳鼻科、皮膚科、歯科医とも連携し急変時の対応支援をしている。	かかりつけ医の利用を中心としているが、週1回往診されている内科医や歯科医、整形外科医等連携し、利用者・家族の希望や要望に基づき柔軟な支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		**○看護職員との協働** 介護職員は，日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを，職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し，個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師の配置をしているが、家庭医及び家庭医看護師と相談・情報を共有し適切な支援を受けている。		
32		**○入退院時の医療機関との協働** 利用者が入院した際，安心して治療できるように，また，できるだけ早期に退院できるように，病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は，そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には１日１回は必ず様子を見に行ったり必要であれば付き添いをしている。又、病院内関係者には要約を書き情報を提供し、情報交換している。		
33	12	**○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援** 重度化した場合や終末期のあり方について，早い段階から本人・家族等と話し合いを行い，事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し，地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に方針を説明している。個々の必要に応じ、医師、家族、本人、運営者等が相談し方針を共有化し支援している。	重度化や終末期対応については、入居時に事業所の指針を提示し、対応を説明。本人や家族の意向を踏まえ、医療機関との連携により職員全員で方針を共有したケアに努め、過去の経験を生かし、最善の支援に努められている。	
34		**○急変や事故発生時の備え** 利用者の急変や事故発生時に備えて，全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い，実践力を身に付けている。	急変時社内の研修を行っている。急変時の対応は実践している。		
35	13	**○災害対策** 火災や地震，水害等の災害時に，昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに，地域との協力体制を築いている。	年に２回定期の防災訓練をしている。消防署にも通知している。来年度は地域との協力体制を確立したい。	年2回定期的に防災訓練を実施し、消防署との連携も図られている。廊下及び各個室には非常灯が準備され停電時の明かりの確保がなされている。	自己評価にもあるように、非常時の災害対策として地域との協力体制の早期確立を期待します。特に周辺地域は、町内の道路が狭く、自動車（消防車・救急車）の対応が困難で、地域の協力なくしては災害時の緊急避難は難しく、早急な対応を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	**○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保** 一人ひとりの人格を尊重し，誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格と人生を尊重し対応させて頂いている。	全職員が、一人ひとりの人格を尊重し、権利を保障する事が援助の基本として、利用者に対しては敬意をはらい、心の通ったケアを徹底している。	
37		**○利用者の希望の表出や自己決定の支援** 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり，自己決定できるように働きかけている。	している。押し付けはしない。待つ姿勢を大事にしている。「待ってネ！」は言わない支援をしている		
38		**○日々のその人らしい暮らし** 職員側の決まりや都合を優先するのではなく，一人ひとりのペースを大切にし，その日をどのように過ごしたいか，希望にそって支援している。	利用者のペースに合わせ、先走りのケアにならないように見守りを大切にしている。		
39		**○身だしなみやおしゃれの支援** その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出時の衣服・お化粧・帽子・スカーフ、美容院・理容院へのお出かけ、気遣いを支援している		
40	15	**○食事を楽しむことのできる支援** 食事が楽しみなものになるよう，一人ひとりの好みや力を活かしながら，利用者と職員が一緒に準備や食事，片付けをしている。	している。その人、その人の力に合った準備、切ることが出来る・まぜることが出来る・味見が出来る等、一緒に共生している	利用者の好みを考慮し献立を考え、食事の下ごしらえは利用者と職員で行い、食事も楽しみの一つと捉え種々工夫がなされている。食事を通じ利用者と職員が、心一つとなり、お互いが教え、教わりながら共に談笑しながら、信頼関係が深まっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	経口摂取量は詳細に記録している。又摂取量の少ない利用者にはバナナ、エンシュアや喉越しの良いもの（プリン・ヨーグルト）を摂取して頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、洗面所にて歯磨きをして頂いている。歩行が難しい方には洗面器を持参しその場で口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排尿パターンを把握し、自立に向けてトイレ誘導声かけを行っている。又個々に合わせてパット等を使用している。	排泄については、毎日の排泄記録により利用者の習慣を把握し、早めのトイレ誘導を行う等トイレでの排泄や排泄の自立支援に努力されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘がちな方には、毎朝牛乳を飲用して頂いている。又散歩や日常生活の中で運動を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	月～土を入浴日にし、思い思いで利用して頂いている。冬至のゆず湯を始め色々と計画をして楽しんで頂いている	原則、週3回が入浴となっているが、毎日入浴も可能。ゆず湯・菖蒲湯・入浴剤（各地の温泉の元）等を活用し、利用者の気分・状況に応じ柔軟に対応されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて，休息したり，安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	布団を干したり、清潔なシーツ類・室温・匂い・騒音等に配慮し対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用，用法や用量について理解しており，服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	理解している。薬の処方時に必ず説明書、注意書を頂いて、必ず確認している		
48		○役割，楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように，一人ひとりの生活歴や力を活かした役割，嗜好品，楽しみごと，気分転換等の支援をしている。	家庭菜園、花壇作り、ご自慢の料理作り等その人を活かした役割支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって，戸外に出かけられるよう支援に努めている。また，普段は行けないような場所でも，本人の希望を把握し，家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日々の買い物にスーパーに出かけたり、散歩のとき近所のパン屋さんへ立ち寄ったり、公園へ散歩に出かけている。今年度は、温泉旅行にも行った。	近所のパン屋さんに散歩がてら出かけたり、巡回バスを利用し大型商業施設に出かけ買い物・ウィンドショッピングを楽しんだり、時に温泉旅行に出かける等、日常的な外出支援がなされている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は，本人がお金を持つことの大切さを理解しており，一人ひとりの希望や力に応じて，お金を所持したり使えるように支援している。	自己管理の出来る方はご自分で、預かり金を管理をしている方もいる。食材の買い物時や、旅行に出かけた時は、お土産などなるべくご自分で支払いをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり，手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は何時でもやり取りが出来る様にしている。日に１回は必ず文字を書く作業の支援をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関，廊下，居間，台所，食堂，浴室，トイレ等）が，利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音，光，色，広さ，温度など）がないように配慮し，生活感や季節感を採り入れて，居心地よく過ごせるような工夫をしている。	夏・冬の温度調整、カーテン等利用して日除け、消臭剤、雑巾がけでの清潔、刺激の除去、季節の花や飾り等工夫している	共用空間は、利用者が不快感や混乱を招くような飾り付けもなく、ごく一般家庭の仕様となっていて、今まで住み慣れた我が家そっくりで、居心地良く過ごせるよう配慮がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で，独りになれたり，気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個々にあった居場所や、ソファ等で談笑されている。場所等工夫している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は，本人や家族と相談しながら，使い慣れたものや好みのものを活かして，本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室はその方のお家ととらえていることを入居時に説明し、ご相談しながら持参されている。お仏壇、タンス、鏡台、等々工夫している。	利用者の使い慣れた馴染の品々を持参し、自分の好みに応じた寝具（ベッド・布団）で、温かい雰囲気の下、居心地良く暮らせるよう工夫がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして，安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室にはネームをかけ、トイレ・浴室等には分かるように表記している。低い段差にもスロープを付けている		

Ｖ　アウトカム項目			
56	職員は，利用者の思いや願い，暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が，一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は，一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は，職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は，戸外への行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は，健康管理や医療面，安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は，その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により，安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は，家族が困っていること，不安なこと，求めていることをよく聴いており，信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して，地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり，事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は，活き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない